

# 【 第23回日韓スポーツ交流 ハンドボール競技(女子・受入) 】

2019年10月10日～15日

開催国：日本・都市：熊本

## 試合結果報告

10月14日(月)

JPN(日本)	VS	KOR(韓国)
14	前半	14
10	後半	10
	第一延長	
	第二延長	
24	合計	24

### 個人得点

No.	名前	得点
1	比嘉 楓	
2	今谷 瑠果	
3	池 杏菜	2
4	白木 千奈理	3
5	吉田 七夕子	
6	長谷川 真穂	
7	塚邊 美夏	3
8	杉浦 葵	
9	砂川 茉穂	4
10	荒井 美咲	6
12	榎本 美佑	
13	叶谷 紅名	1
14	外口 若奈	
15	高来 葵美	5
16	作本 夕莉	
17	名嘉 陽菜	
	合計	24

### 試合結果

### 戦評

前回の訪韓での課題を修正し、迎えた日本ラウンド。日本は前回同様、2チーム構成で試合に臨んだ。前半日本のスタートは、LW名嘉、LB長谷川、CB高来、RB塚邊、RW外口、PV吉田、GK比嘉の布陣で臨む。対する韓国チームは、前回の韓国ラウンドで活躍した高来を警戒し、積極的な6-0 DFの布陣でゲームに入った。立ち上がり、GKの比嘉がサイドシュートを3連続セーブ。OFでは高来、塚邊のロングシュートで4-0と日本がリードする。日本の良い流れでゲームが進んでいたが、韓国はカットインを中心に攻撃し前半11分には6-6の同点に追いつく。ここで日本はタイムアウトを申請。コートプレイヤーをLW今谷、LB白木、CB荒井、RB砂川、RW叶谷、PV池と総入れ替えした。日本は荒井を中心とした攻撃でリズムを掴み、砂川、白木、叶谷とバランス良く得点を重ね、再びリードに成功。対する韓国は、ポストにボールを集め得点を重ね14-14で前半終了。DFの高さとフォローを早めにかけることに修正をかけて後半開始。日本は開始こそ得点をとるが、攻撃のミスが出始める。12分まで得点が止まり、17-21とリードを許し、日本はたまたらタイムアウト。前半同様、コートプレイヤーを入れ替えた。そこから日本の攻撃的なDFが光る。韓国バックプレイヤー陣のカットインを抑え、ポストへのパスをカット、速攻で連続得点を奪う。後半22分、再び荒井の速攻で韓国がたまたら反則、2分間退場となり7mTを決めて1点差。さらに1点を追加し、同点。韓国はタイムアウトを申請し、最後のオフェンスにかける。日本は最後まで韓国を抑え、23-23で試合終了。今回の日韓交流では世界を見据え、攻撃的なDFをテーマにチャレンジした。この経験を糧に、選手達の更なる成長を期待したい。

報告記入者：

荒井 啓貴